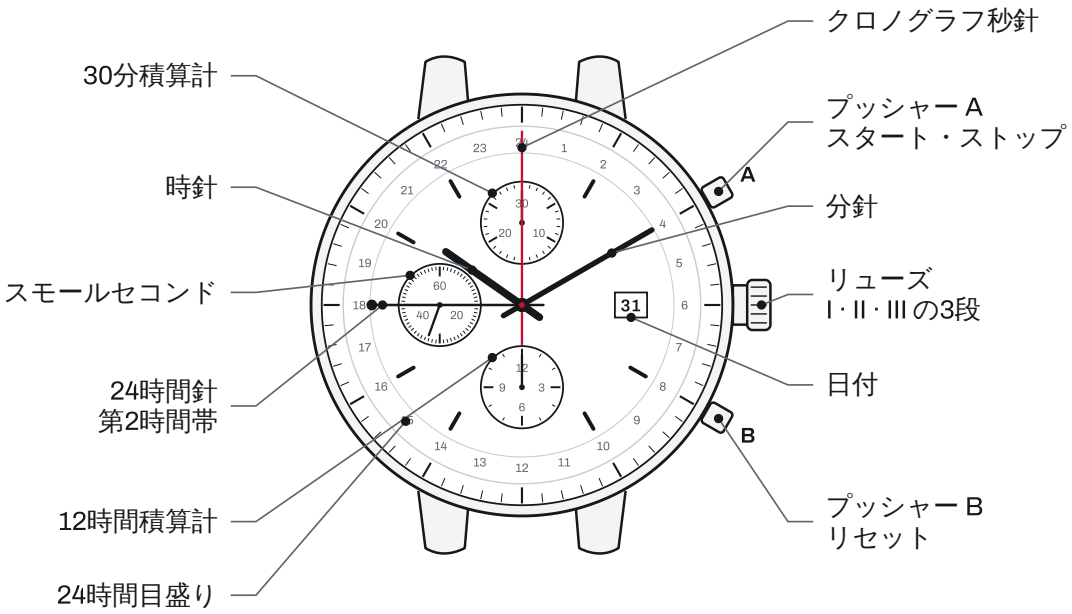
GMT クロノグラフ

自動巻きムーブメント · ブレラム キャリバー BR-754-GMT · VALJOUX 7754 ベース

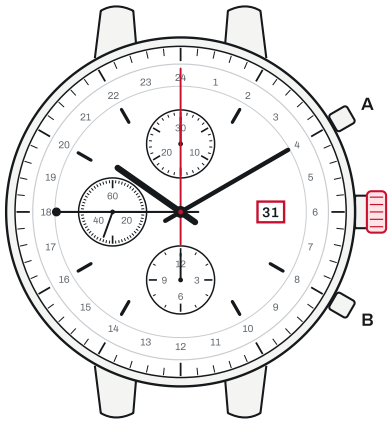
A 表示

針と表示



B 設定

3段式リューズ



I **通常位置・手巻き**

通常の位置です。リューズを上方向に回すと手巻きができます。腕に着けていれば自動で巻き上げられます。

II **日付・24時間針の早送り**

リューズを上方向に回すと日付が進みます。下方向に回すと24時間針を第2時間帯に合わせられます。

III **時刻合わせ**

秒針が止まり、秒単位で時刻を合わせられます。日付は針が午前0時を通過すると切り替わります。午前・午後を確実に合わせるには、日付が変わるまで針を進めてから時刻を合わせてください。

! 午後10時から午前4時の間は日付を修正しないでください

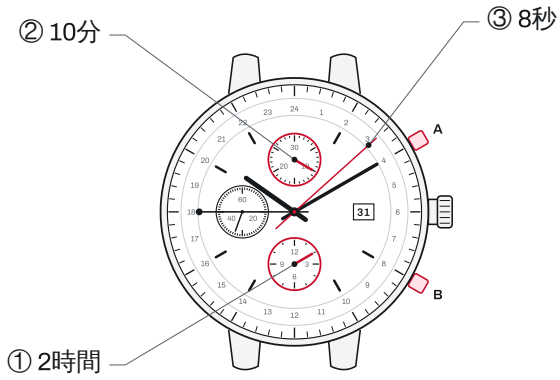
この時間帯は日付の切り替え機構が作動しているため、修正すると故障の原因になります。まず針をこの時間帯の外に移動させ（位置 III）、それから日付を合わせてください（位置 II）。

C クロノグラフ

通常計測

1	A	**スタート**
2	A	**ストップ** · 計測時間を読み取る
3	B	**リセット**

リューズは位置 I にしてください。



計測時間の読み方

計測時間は3つの表示で示されます。次の順番で読み取ってください。

計測時間：2時間10分8秒

赤い大きな秒針がクロノグラフの秒を示します。9時位置のスモールセコンドは、時計が動いていることを示すだけです。

D クロノグラフ

積算計測

リセットせずに複数の時間を合計できます。移動の区間ごとの時間などに便利です。

1	A	**スタート**
2	A	**ストップ** · 読み取り
3	A	**再スタート**
4	A	**ストップ** · 合計時間を読み取る
5	A	**再スタート**
6	A	**ストップ** · 合計時間を読み取る
X	B	**リセット** · ストップ後のみ

巻き上げ

毎日着用すれば自動で巻き上げられます。数日間使用しなかった場合は、位置 I でリューズを20〜30回巻いてください。

水

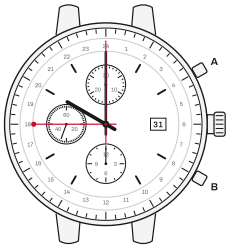
水中ではプッシャーやリューズを絶対に操作しないでください。リューズは必ず位置 I に戻してください。

サービス

ご質問、調整、オーバーホールのご相談は：customer@brellum.swiss

G 第2時間帯

24時間針



時針と分針は現地時刻を示します。24時間針は1日1回転し、24時間目盛りで第2時間帯の時刻を示します。昼と夜を取り違えることはありません。

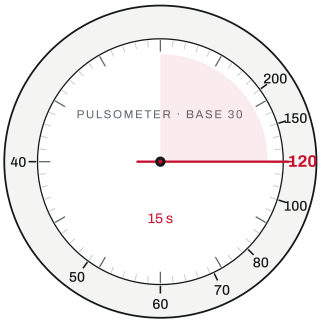
例：レイキャビクで午後10時のとき、24時間針を18に合わせると、ニューヨークの時刻を示します。

E スケール

モデルにより異なります

モデルにより、文字盤またはベゼルに以下のスケールが1つ以上あります。リューズを位置 I にして、クロノグラフ秒針で読み取ります。

パルスメーター

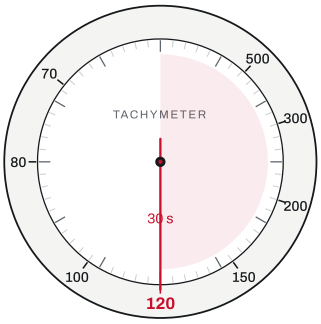


心拍数を1分あたりの拍数で計測します。

1. A **スタート** · 脈拍を数え始めると同時に
2. **30拍を数える**
3. A **ストップ** · ちょうど30拍目で
4. **心拍数を読む** · 秒針が指すスケールの目盛り

30拍に15秒かかった場合、針は**毎分120拍**を示します。

タキメーター

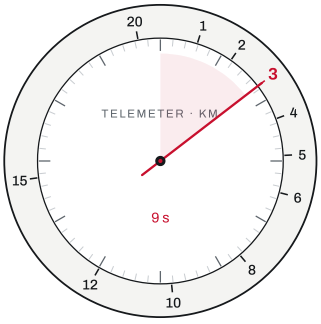


既知の距離での平均速度や、生産のペースを計測します。

1. A **スタート** · 計測の開始時に
2. A **ストップ** · ちょうど1km（またはスケールの単位）進んだ時点で
3. **速度を読む** · 秒針が指すスケールの目盛り

1kmを30秒で走行した場合、スケールは**時速120km**を示します。

テレメーター



光と音の到達時間の差を利用して、見えて聞こえる現象までの距離を計測します。

1. A **スタート** · 稲妻や閃光が見えたらすぐに
2. A **ストップ** · 音が聞こえた時点で
3. **距離を読む** · 秒針が指すスケールの目盛り

雷が光ってから9秒後に雷鳴が聞こえた場合、雷雲までの距離は約**3km**です。